

24年度 区民意識調査の結果 気づきでつなぐ 「いのちのネットワーク」 相談機関等の認知度を調査

いのちのネットワーク

地域の中で相談できる機関等を知っていますか

区では、昨今の孤立死報道等を受けて、経済的困窮や社会的孤立などのために支援が必要な区民の方を必要な支援につなぐ地域や行政のセーフティネットとして「新宿区いのちのネットワーク」を立ち上げました。このネットワークは、区民・地域団体・医療機関等の区内関係団体・区内官公署と新宿区関係各課が、区民等からの連絡・通報を受け、悩んでいる人を必要な支援につなげ、連携して地域で支援していこうというものです。

いのちのネットワークを構成する相談機関等をどの程度知っているか尋ねたところ、「よく知っている」「少しは知っている」を合わせた「知っている」は、「民生委員・児童委員」(63.2%)が6割を超えて最も高く、次いで「新宿消費生活センター」(61.3%)、「保健センター」(58.9%)の順になっています。



高齢者の見守り 区が重点的に取り組むべきこと



高齢者の方の孤立を防ぎ地域のつながりの輪を広げる「ほっと安心カフェ」

高齢者の見守り・支え合いを進め、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、区が重点的に取り組むべきことを尋ねたところ、「地域安心カフェ、区の高齢者施設等を活用した気軽に集える場を設け、区民が相互に高齢者を見守る支え合いの地域をつくること」(28.2%)が最も多く3割近くとなり、「金融機関、コンビニエンスストア等、民間事業所に連携の輪を広げること」(25.0%)、「認知症サポーターが地域で活動できる仕組みづくりを進めること」(23.2%)の順になっています。

区の重要課題への区民の皆さんの意識・要望を把握し、今後の区政に反映させるため、毎年「区民意識調査」を実施しています。24年度の調査は、無作為抽出した18歳以上の区民の方2,500名を対象に、昨年9月下旬、郵送で実施し、1,142名から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

24年度は、毎年調査している「居住意向」「区政への関心」「生活における心配事」などのほか、「いのちのネットワーク」「高齢者の見守り」「配偶者等からの暴力」について伺いました。

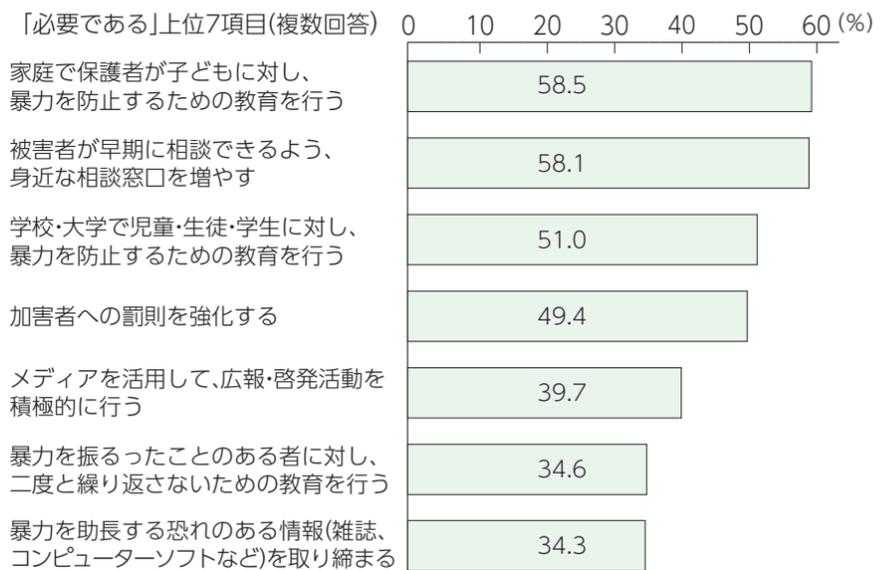
調査結果は、今後の区政運営のための貴重な資料として活用します。調査報告書は、広聴担当課・区政情報センター(本庁舎1階)・区立図書館で閲覧できるほか、新宿区ホームページでご覧いただけます。また、要約版を広聴担当課・区政情報センター・特別出張所で配布しています。

【問合せ】広聴担当課広聴係(本庁舎3階)☎(5273)4065・㊚(5272)5500へ。

配偶者等からの暴力防止のために必要なこと

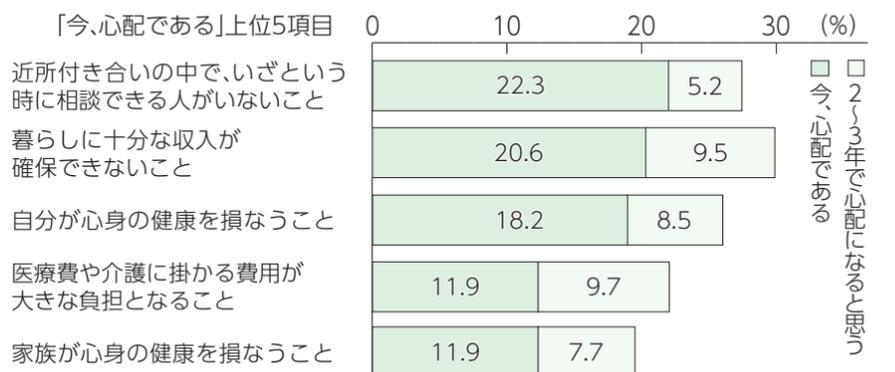
人権を尊重し、配偶者等からの暴力のない社会を実現するため、区では、24年1月に「新宿区配偶者等暴力防止及び被害者支援基本計画」を策定しました。

男女間における暴力を防止するために必要なことを尋ねたところ、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」(58.5%)が6割近くで、最も高くなっています。



生活における心配事

日ごろの生活の中で、どのような心配事があるかを尋ねたところ、「今、心配である」ことは、「近所付き合いの中で、いざという時に相談できる人がいない」(22.3%)が21年度から4年連続で第1位でした。



区の施策への要望

区の施策への要望は、「高齢者福祉の充実」「防犯・地域安全対策」は17年度の調査から第1位・第2位となっています。上位の5項目はいずれも23年度の調査と同じ順位ですが、「子育て支援(少子化対策)」(19.3%)は23年度(15.2%)より4.1ポイント増加しています。



親子で体操(児童館で)

上位5項目・複数回答		
1位	高齢者福祉の充実	36.1%(40.8%)
2位	防犯・地域安全対策	28.7%(29.6%)
3位	震災・水害対策	25.7%(27.6%)
4位	子育て支援(少子化対策)	19.3%(15.2%)
5位	低所得者への支援	11.7%(12.6%)

()は23年度の割合